

2009年度

科目名	ゼミナールⅡ				
担当教員	竹本 封由之進				
配当	教福4			コード	80840
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数	4
授業テーマ	絵画制作を通し、自己実現をはかる				
目的と概要	<p>前年度のゼミナールⅠから継続した研究主旨を生かし、絵画表現を主として検証的に卒業研究を進める。自主的・主体的な研究姿勢で、生涯学習につながるような自己教育力の基盤を確立しましょう。</p> <p>なお、卒業制作は油彩画F60号作品1点とします。</p> <p>また、副論文は「表現と自己実現」を研究課題の基底として考察し、原稿用紙15枚以上にまとめること。ゼミでの学習交流を通して学友との絆を強め、生涯付き合い合えるような関係を期待します。</p>				
成績評価法	・出席状況・研究姿勢・制作活動の様子・学習成果・自己評価・油彩画作品などによって総合的に評価する。				
テキスト	必要に応じてテキスト・資料を紹介する。				
参考書	適宜紹介する。				
履修に当たっての注意・助言	<p>◆ 2月上旬 卒業制作油彩画展(志学館)、2月中旬 卒業制作展(御堂筋ギャラリー)を行い、2年間の学習のまとめとする。</p> <p>* 予定以外にも、下級生との交流活動、地域活動への参加等を入れる予定です。</p>				
講義計画					
1回	・年間ゼミ学習計画と学生生活の設計(実習、卒業、就職関係事項等)				
2→13回	<ul style="list-style-type: none"> ・月例写生会、写生旅行の計画 ・写生会における作品の評価会 <li style="padding-left: 20px;">構図、形と色、量感や質感、主題、モチーフ、技法等 ・鑑賞作品の紹介、報告会 ・論文の書き方の演習 ・造形表現、図画工作科の教材研究 ・卒業制作、副論文の構想相談、計画 ・卒業、実習、就職相談 ・その他、各種活動についての取り組み 				
14回	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンバス下塗り ・下絵制作 				
15回	<ul style="list-style-type: none"> ・「絵画表現」と卒業研究の意義 ・卒業制作構想発表会 ・夏休みの課題と計画 				
16回	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの成果発表会 ・制作日程の確認 				
17→20回	<ul style="list-style-type: none"> ・各自で卒業制作を進める(随時) ・副論文の構想を練る 				
21回	<ul style="list-style-type: none"> ・副論文の作成日程の確認 ・副論文の書き方の確認 				
22→28回	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業制作の完成 ・各自で副論文の作成 				
29回	<ul style="list-style-type: none"> ・副論文完成、発表会、相互評価 				
30回	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業制作「油彩画」F60号、副論文完成・提出 				